



●式典

石川県医療機器協会創立60周年記念式典がホテル日航金沢で挙行政され、正会員・賛助会員
会員企業社員を含め100名が出席しました。

ご来賓として谷本正憲石川知事のご名代として健康福祉部 北野喜樹様、松田豊久 薬事衛生
課長、小新松典参事、医器販協 浅若会長、県医師会 安田会長、県薬剤師会 中森会長、
県薬事振興会 折本会長、福井・富山医療機器協会からもご参列いただきました。

開会に先立ちここ10年間にお亡くなりになられた正会員・名誉会員を忍び黙祷が捧げられました。



会長挨拶に続き創立以来、50年以上加盟の事業所
7社、岩崎医療電機製作所・スギモト産業(株)・富木医療
器(株)不二製作所・フクダ電子北陸販売(株)・三和メディ
カル(株)丸文通商(株)を代表して岩崎医療電機製作所
岩崎忠弘氏が感謝状を受け、謝辞を述べられました。



引き続き石川県知事ご名代の健康福祉部 北野喜樹部長を始めにご来賓より祝辞を頂戴致し、式典は閉会しました。



●記念講演

演題「日本の医療・介護はどう変わるかー人口減少社会に向けてー」

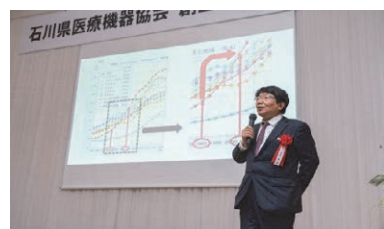
講師：国際医療福祉大学教授 高橋泰 先生

《略歴》

金沢大学医学部卒、東京大学大学院医学系研究科修了（医学博士(医療情報)）

米国スタンフォード大学、ハーバード大学に留学後、1997年より国際医療福祉大学教授。

2018年4月より本学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部長に就任、大学院医学研究科
医療福祉管理学分野教授を兼任。社会保障国民会議や日本創生会議などにおいて高齢
者の急増、若年人口の減少に対応した医療・介護提供体制の整備の必要性を提言、地域
医療構想などの先鞭をつける。2016年9月より内閣未来投資会議・構造改革徹底推進会合
医療福祉部門副会長。



日本の人口減少をふまえ、日本の医療・福祉はどのように変化しなければならないかを骨子とした
講演では、ビッグデータやクラウド、AIを利用し働く側の生産性を上げるとともに、医療・福祉を受ける
側として健康寿命をどのように伸ばすのが課題であり、ハイテク機器、ロボット、遠隔診療等を
利活用いかに自立した生活を送るのかを考えていかなければならないと述べられました。

最後に団塊世代へのメッセージとして、どこまで生きたいかを自ら確かめ、意思表示をすることが大事。
自分で決めて、自立してかっこよく老いて、食べられなくなったら、枯れるようになくなる、かっこよく死のう
という少し形而上的な結論で締めくくられました。



●祝賀会

記念講演に続いて賑やかに祝賀会が開催されました。会長の挨拶の後、石川県医師会の安田健二会長、石川県薬剤師会の中森慶滋会長から祝辞を頂戴し、県薬事衛生課 松田豊久課長のご発声で乾杯、ラベンダー・JAZZ・オーケストラが華を添えるなか、懇親を深めました。



閉宴にあたり、富木隆夫副会長より御礼の挨拶、テルモ(株)金沢支店 中尾嘉昭支店長による中締めのご挨拶で賑々しく閉宴となりました。